

## 達成状況評価書(平成24年度)

部局名: 人間科学研究科・人間科学部

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>教育に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、英語による人間科学コース用の共通教育科目を一般学生にも開放したほか、卓越した大学院拠点形成支援補助金に採択された結果、RAを25名雇用するなど、学生のキャリア形成に役立つ取り組みを積極的に実施しており、これら各種取り組みは大学の年度計画の達成に貢献している。また、博士課程教育リーディングプログラム「未来共生イノベーター博士課程プログラム」の教育プログラムの策定において、主導的役割を果たし、未来戦略機構第5部門の設立に貢献したことは大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>研究に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、最先端ときめき研究推進事業「バイオサイエンスの時代における人間の未来」について海外での成果発表を重点的に進めるとともに、部局独自の研究支援としてヒューマンサイエンスプロジェクトを継続実施するなど大学の年度計画の達成に貢献している。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、人間科学部創立40周年を記念し、学外からの参加者も得て、震災後のコミュニティ復興に関わるシンポジウムを開催したほか、教員免許状更新講習「教師に必要な新たな気づきと元気の共有」(必修領域)を実施し、小中学校教員のリカレント教育のニーズに応えるなど積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、行動学系、社会学系、人間学系に続き、教育学系、グローバル人間学系で研究倫理審査体制を整備し、研究科全体での研究倫理審査体制を確立するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、英語による人間科学コース用の共通教育科目を一般学生にも開放したほか、卓越した大学院拠点形成支援補助金への採択、博士課程教育リーディングプログラム「未来共生イノベーター博士課程プログラム」への貢献など積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>